

講義科目名称： 成人看護学演習 I（慢性期）

授業コード：

英文科目名称： Adult Health Nursing Seminar I（Chronic Phase）

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	必修
担当教員			
相澤 里香、清岡 美和子			
月1、2			
添付ファイル			

科目の概要	既習科目の知識をすべて活用し、慢性期にある患者の看護過程の展開を主として行う。		
授業の内容	第1回	ガイダンス、論理的思考訓練 本講義の概要について説明する。 論理的思考訓練の個人ワークを行う。	
	第2回	論理的思考訓練 論理的思考訓練の個人ワークおよび成果発表を行う。	
	第3回	看護過程理論の復習 事例の提示 記録用紙の配布 看護過程理論の基礎について概説する。 ゴードンの概念枠組みについて説明する。 本演習で用いる事例の提示を行う。 記録用紙の配布	
	第4回	情報収集 情報収集とは何かを復習するための説明を行う。 情報収集の実践を行う。	
	第5回	アセスメント1 アセスメントとは何かを復習するための説明を行う。 アセスメントの実践を行う。個人ワークおよびグループワーク。	
	第6回	アセスメント2 アセスメントの実践を行う。個人ワークおよびグループワーク。	
	第7回	関連図1 関連図の作成の実践を行う。	
	第8回	関連図2 関連図の作成の実践を行う。	
	第9回	統合 統合とは何か説明を行う。 統合を実践する。	
	第10回	優先順位の判断1 優先順位とは何か説明する。 優先順位の判断を実践する。	
	第11回	優先順位の判断2 優先順位の判断を実践する。	
	第12回	看護計画立案1 看護計画とは何かを説明する。 看護計画の立案を実践する。	
	第13回	看護計画の立案2 教育媒体の作成を行う。	
	第14回	患者教育プランの発表会 教育媒体を用いたロールプレイによる発表を行う。	
	第15回	評価・修正 サマリー、評価・修正について概説する。	
	第16回	定期試験	
学習到達目標	成人期の慢性疾患に罹患している患者の看護過程の展開できる。 1) ゴードンの看護過程理論にもとづき、各看護過程のプロセスを考えることができる。 2) 看護過程の展開を通し、対象者の看護問題を明確にすることができる。 3) 患者教育の原案を作成しロールプレイが実践できる。		
授業の方法	講義および演習		
成績評価の方法	定期試験 70%、看護過程の展開のレポート 30%		
教科書・テキスト	マージョリー・ゴードン：ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 よくわかる機能的健康パターン、照林社		
参考書	授業時に適宜紹介する。		
授業時間外の学修について（事前・	既習科目の復習を大切にすること。特に看護過程、基礎看護学実習Ⅱ。これらの科目を主に土台にした科目である。わからない言葉等をしらべておくこと。		

事後学習について)	
履修上の留意事項	主体的に看護過程の展開を行えるように必要な参考書、資料等を毎回持ってくる。看護過程の展開は積極的に学修すること。
オフィスアワー	相澤：水曜日14時40分から16時10分 清岡：水曜日 13時～14時30分
課題に対するフィードバックの方法	電子メール、直接の来室。実習で不在時間が多いため可能であれば予約が望ましい。在室時は随時対応する。授業終了後教室で質問に対応、研究室への来訪可
実務経験	相澤、清岡：看護師
その他	